

# 福山大学情報セキュリティパンフレットの概要

謝辞：この資料では「かわいいフリー素材集 いらすとや」のイラストを使用しています



# 情報倫理, 情報セキュリティを示した冊子等



## 情報セキュリティパンフレット



## 情報セキュリティチェックリスト (教職員向け)

(付録) オンラインでの情報共有, 情報伝達等について  
ご利用にあたっては、弊学が実施しているセキュリティ対策を御覧ください。

システム, 利用者の範囲	概要
キヤビネット Karin SharePoint 2019, SQL Server 教職員のみ利用可能	○ 教職員限定での情報共有と情報連携 ※ 学外からのアクセスでなく「その学域で安心です」。複数のグループがあり、教員がアクセス権を管理（メンバー以外アクセス不可）、ご自身の情報。
Office 365 (念字メールシステムを含む) Exchange, SharePoint, OneDrive, Office 365 のオンラインサービス 学生, 教職員が利用...	○ 情報共有, 情報連携, 情報伝達 Office 365 グループによる情報共有, Office 365 フォームによる情報収集 ※ Office 365 チームは、教職員専らより限定機能 (メンバーご学などを含めることも可能)。Office 365 チームの開設時には、プライバシー権「情報」がメンバーには承認していただき、 ○ 念字メールシステム (Office 365 メールシステム) ・各個人のメール送受信, メールアドレスのエイリアス (別名) ・共有メールボックスでのメール送受信とメール共有 (部署名等によるメールアドレス) ※ 念字メールシステムは、念字メールシステムに限定します。 ※ 念字では、メールアプリケーションは、Outlook の Web ブラウザ版をお勧めいたします。
ゼムコバ CampusPlan 学生, 教職員が利用...	○ 大学からの連絡のせ 目的のある職員による, 全学生, 全教職員等への一斉配信 (電子メールによる) と Web ページの掲載 ○ ゼムコバの「個人設定」で、PC 用とモバイル用の「メールアドレス」を設定の下に、「お知らせ配信設定」で、これらメールアドレスへ「大学」からの連絡を配信するかどうか、自分で設定していただけます。
セレンゾ manaba 学生, 教職員が利用...	○ セレンゾの LMS, レスポの機能 学生, 教職員相互の情報伝達等を行うもの。

### ICTサービス窓口

場所 7号館2階

(正面の階段を昇って、すぐ目の前にあります)

開設時間 平日10:00~13:00, 15:00~17:00

電話 4 3 2 5

電子メール ictservice@fukuyama-u.ac.jp

ICTの心配事は、周困やICTサービス窓口に打ち明けてくださいますよう。



字様の質を高める  
福山大学の情報サービス

大学にパソコン類を持参する時代  
BYOD

学生ポータルシステム  
Zelkova

学務支援システム  
Cerezo

Developer Education  
Azalea

Office 365



インターネットの普及により、パソコン、スマートフォンなどの情報通信機器を使って、見知らぬ人と交流したり、世界に情報を発信したりするなど、昔は困難だったことが容易になりました。



パソコン、スマートフォンなどの情報通信機器は、字僚や、離れた仲間との交流など、大学生の充実に役立ち、学生生活を豊かにしてくれます。



福山大学でも、学生が使える教育用パソコン室やWi-Fiスポットなど、最新の情報通信機器を充実させています。種々の学生向け情報サービスも整備しています。



学生の皆さんは、情報通信機器を使いこなし、有意義な大学生活を送ってください。一方で、見知らぬ人からの誘惑や誤の危険、情報通信機器を使ったちょっとした行為が、他人に迷惑をかける可能性にも注意してください。



このパンフレットでは、情報通信機器を活用するとき、誘惑や誤から自分を守るために気を付けて欲しいこと、他人に迷惑をかけるために心がけて欲しいことをまとめています。ぜひ、活用してください。



ページ 1, 2

# 情報通信機器は便利

パソコン, スマホ, インターネット

◇ データの整理／活用, 情報収集, 交流, 情報発信

◇ 大学生生活の充実に役立つ

# 気を付けてほしいこと

インターネットの普及により、パソコン、スマートフォンなどの情報通信機器を使って、見知らぬ人と交流したり、世界に情報を発信したりするなど、昔は困難だったことが容易になりました。



パソコン、スマートフォンなどの情報通信機器は、学修や、離れた仲間との交流など、大学生生活の充実に役立ち、学生生活を豊かにしてくれます。

福山大学でも、学生が使える教育用パソコン室やWi-Fiスポットなど、最新の情報通信機器を充実させています。種々の学生向け情報サービスも整備しています。



学生の皆さんは、情報通信機器を使いこなし、有意義な大学生活を送ってください。一方で、見知らぬ人からの誘惑や罠の危険、情報通信機器を使ったちょっとした行為が、他人に迷惑をかける可能性にも注意して欲しいのです。

このパンフレットでは、情報通信機器を活用するとき、誘惑や罠から自分を守るために気を付けて欲しいこと、他人に迷惑をかけるないために心がけて欲しいことをまとめています。ぜひ、活用してください。



- ◇ 誘惑や罠の危険
- ◇ 他人に迷惑をかける可能性

パソコン、スマホ、インターネットを使うときに、気を付けてほしい

ページ2



# インターネットの利用

## 便利なこと

世界とつながる

情報収集  
交流など

## 気を付けて欲しいこと

悪意を持った人からの  
誘惑や罠の危険

ちょっとした行為が、  
思わず、他人に迷惑を  
かける可能性



# 1. コンピュータウイルス から自分を守る



# コンピュータウイルスとは

## 情報通信機器を安全に活用するための3か条

インターネットを使うと世界とつながります。たくさんの情報に触れたり、また、たくさんの人と交流ができたり、とても便利です。その一方で、残念ながら、悪意を持った人からの誘惑や罠の危険もあります。ちょっとした行為が他人に迷惑をかける場合もあります。情報通信機器を安全に活用するために、次のことに気を付けて下さい。

### 1. コンピュータウイルスから自分を守る

コンピュータウイルスは、パソコンやスマートフォンなどに感染し、被害を与えます。電子メール、Web ページ、アプリなど、さまざまなところにコンピュータウイルスが隠れています。「ここをクリックするとプレゼント!」、「楽しいアプリなので、すぐインストールしよう!」、「添付の PDF ファイルは重要情報!」のように巧みな手口でコンピュータウイルスを仕掛けてくる場合もあります。



- 知らない人からの電子メールは開かない。
- 電子メールの送信者が、有名人や知人の名前になっていても、実際には全く別の人である場合があります。電子メールの添付ファイルを開くとき、「会員登録」、「友達申請」などのリンクを開くときは注意する。
- Web ページで「ここをクリック!」とあっても、安易にクリックしない。
- パソコンのオペレーティングシステムは頻りにアップデートするか、自動でアップデートするように設定する。
- 情報通信機器には、必ずウイルス対策ソフトウェアをインストールする。  
※ 福山大学では、学生が無料で利用できるウイルス対策ソフトウェアを準備しています。

### 2. 大事な情報を漏らさない

ブログや掲示板などでの交流はとても楽しいものです。しかし、ブログや掲示板などに書き込んだ情報は、世界中の人の目に触れる可能性があります。一度あなたが書き込んだ情報を、他の人が勝手にコピーして配布することもあります。秘密にしたい情報を守ること、自分以外の人のプライバシーを侵害しないことが重要です。



• 悪意をもったソフトウェア

• 情報の漏えい, 情報の破壊, システムの乗っ取り

ページ3



# コンピュータウイルスを仕掛ける手口

## 情報通信機器を安全に活用するための3か条

インターネットを使うと世界とつながります。たくさんの情報に触れたり、また、たくさんの人と交流ができたり、とても便利です。その一方で、残念ながら、悪意を持った人からの誘惑や罠の危険もあります。ちょっとした行為が他人に迷惑をかける場合もあります。情報通信機器を安全に活用するために、次のことに気を付けて下さい。

### 1. コンピュータウイルスから自分を守る

コンピュータウイルスは、パソコンやスマートフォンなどに感染し、被害を与えます。電子メール、Web ページ、アプリなど、さまざまなところにコンピュータウイルスが隠れています。「ここをクリックするとプレゼント!」、「楽しいアプリなので、すぐインストールしよう!」、「添付の PDF ファイルは重要情報!」のように巧みな手口でコンピュータウイルスを仕掛けてくる場合もあります。



- 知らない人からの電子メールは開かない。
- 電子メールの送信者が、有名人や知人の名前になっていても、実際には全く別の人である場合があります。電子メールの添付ファイルを開くとき、「会員登録」、「友達申請」などのリンクを開くときは注意する。
- Web ページで「ここをクリック!」とあっても、安易にクリックしない。
- パソコンのオペレーティングシステムは頻りにアップデートするか、自動でアップデートするように設定する。
- 情報通信機器には、必ずウイルス対策ソフトウェアをインストールする。  
※ 福山大学では、学生が無料で利用できるウイルス対策ソフトウェアを準備しています。

### 2. 大事な情報を漏らさない

ブログや掲示板などでの交流はとても楽しいものです。しかし、ブログや掲示板などに書き込んだ情報は、世界中の人の目に触れる可能性があります。一度あなたが書き込んだ情報を、他の人が勝手にコピーして配布することもあります。秘密にしたい情報を守ること、自分以外の人のプライバシーを侵害しないことが重要です。



ページ3

(見知らぬ人からののお知らせ)  
ここをクリックするとプレゼント!

(見知らぬ人からののお知らせ)  
楽しいアプリなので、すぐにインストール

(見知らぬ人からののお知らせ)  
添付ファイルは重要ファイルなので、すぐに開きなさい



# コンピュータウイルスから自分を守る

## 情報通信機器を安全に活用するための3か条

インターネットを使うと世界とつながります。たくさんの情報に触れたり、また、たくさんの人と交流ができたり、とても便利です。その一方で、残念ながら、悪意を持った人からの迷惑や裏の危険もあります。ちょっとした行為が他人に迷惑をかける場合もあります。情報通信機器を安全に活用するために、次のことに気を付けて下さい。

### 1. コンピュータウイルスから自分を守る

コンピュータウイルスは、パソコンやスマートフォンなどに感染し、被害を与えます。電子メール、Web ページ、アプリなど、さまざまなところにコンピュータウイルスが隠れています。「ここをクリックするとプレゼント!」、「楽しいアプリなので、すぐインストールしよう!」、「添付の PDF ファイルは重要情報!」のように巧妙な手口でコンピュータウイルスを仕掛けてくる場合もあります。



- 知らない人からの電子メールは開かない。
- 電子メールの送信者が、有名人や知人の名前になっていても、実際には全く別の人である場合があります。電子メールの添付ファイルを開くとき、「会員登録」、「友達申請」などのリンクを開くときは注意する。
- Web ページで「ここをクリック!」とあっても、安易にクリックしない。
- パソコンのオペレーティングシステムは頻りにアップデートするか、自動でアップデートするように設定する。
- 情報通信機器には、必ずウイルス対策ソフトウェアをインストールする。  
※ 福山大学では、学生が無料で利用できるウイルス対策ソフトウェアを準備しています。

### 2. 大事な情報を漏らさない

ブログや掲示板などでの交流はとても楽しいものです。しかし、ブログや掲示板などに書き込んだ情報は、世界中の人の目に触れる可能性があります。一度あなたが書き込んだ情報を、他の人が勝手にコピーして配布することもあります。秘密にしたい情報を守ること、自分以外の人のプライバシーを侵害しないことが重要です。



ページ3

- 知らない人からの電子メールは開かない
- 電子メールの送信者や、有名人や知人になっても、まったくの別人の可能性もある。
- Web ページで「ここをクリック!」と書いてあっても慎重に。
- パソコンのオペレーティングシステムは、頻りにアップデートするか、自動でアップデートするように設定する
- ウイルス対策ソフトウェアを使う



## 2. 大事な情報を漏らさない



# ブログや掲示板に書き込んだ情報は：

• 世界中の人の目に触れる可能性がある

• 一度、あなたが書き込んだ情報を、他の人が勝手にコピーして配布することもある

秘密にしたい情報は守る．自分以外の人プライバシーも尊重する

## 情報通信機器を安全に活用するための3か条

インターネットを使うと世界とつながります。たくさんの情報に触れたり、また、たくさんの人と交流ができて、とても便利です。その一方で、残念ながら、悪意を持った人からの誘惑や誤りの危険もあります。ちょっとした行為が他人に迷惑をかける場合もあります。情報通信機器を安全に活用するために、次のことを気を付けて下さい。

### 1. コンピュータウイルスから自分を守る

コンピュータウイルスは、パソコンやスマートフォンなどに感染し、被害を与えます。電子メール、Webページ、アプリなど、さまざまなところにコンピュータウイルスが隠れています。「ここをクリックするとプレゼント!」、「楽しいアプリなので、すぐインストールしよう!」、「招待のPDFファイルは重要情報!」のように巧みな手口でコンピュータウイルスを仕掛けてくる場合もあります。

- 知らない人からの電子メールは開かない。
- 電子メールの送信者が、有名人や知人の名前になっていても、実際には全く別の人である場合があります。電子メールの添付ファイルを開くとき、「会員登録」、「友達申請」などのリンクを開くときは注意する。
- Webページで「ここをクリック!」とあっても、安易にクリックしない。
- パソコンのオペレーティングシステムは定期的にアップデートするか、自動でアップデートするように設定する。
- 情報通信機器には、必ずウイルス対策ソフトウェアをインストールする。  
※ 福山大学では、学生が無料で利用できるウイルス対策ソフトウェアを準備しています。

### 2. 大事な情報を消さない

ブログや掲示板などで交流はとても楽しいものです。しかし、ブログや掲示板などに書き込んだ情報は、世界中の人の目に触れる可能性があります。一度あなたが書き込んだ情報を、他の人が勝手にコピーして配布することもあります。秘密にしたい情報を守ることで、自分以外の人のプライバシーを侵害しないことが重要です。

- 他人に秘密にしたい情報をインターネットで書き込まない。特に、住所、免許証や運転免許のコピーなど、プライバシーに関わる情報をインターネットで書き込む行為はやめましょう。自宅周辺などの写真は、自分の住所が特定できる材料となり大に危険です。
- 家族のこと、友人のこと、知り合いのことなど、自分以外の人のことをインターネットに書き込むときは、その人たちのプライバシーや感情に十分に配慮を。
- その場の感情のみで書き込みます。落ちついた気持ちで書き込むように。自分の恥ずかしい体験、人への不満、いたずら自慢などは、うっかり書き込んだとき、あとで読み返してみると恥ずかしくなるものです。
- 荷造めした表示に出会っても、たいていの場合は無視しても大丈夫。インターネットを使っているとき「現金を振り込め!」、「解約しなければ電子メールで連絡を!」、「住所と名前を知らせる!」、「電話しろ!」、「1週間以内に振り込まなければ!」などの怖い表示が出会う場合もありますが、慌てずに、信頼できる人に相談しましょう。

### 3. パスワードをきちんと管理する

パスワードは、福山大学の情報通信機器や、学生向け情報サービスを使うときにも必要です。パスワードは厳重に自身の身分を証明するとても大事なものです。

- 自分が利用する情報通信機器（パソコン、携帯電話など）には、必ずパスワードを設定する。パスワードを他の人に教えてはいけません。
- 学校などの公共のパソコンを使っていて、ログインしたまま目を離れるとパスワードを盗まれる危険があります。目を離れる時は必ずログオフするようにしましょう。
- 生年月日や電話番号、辞書に載っている単語をパスワードなどに、他人に推測されやすいパスワードは避けましょう。暗号強度が高いパスワードを使うようにしましょう。

ページ 3, 4

地域と世界をつなぐ、未来創造人を育成する。



# 大事な情報を守るために

情報通信機器を安全に活用するための3か条

インターネットを使うと世界とつながります。たくさんの情報に触れたり、また、たくさんの人と交流ができて、とても便利です。その一方で、残念ながら、悪意を持った人からの誘惑や悪意の危険もあります。ちょっとした行動が他人に迷惑をかける場合もあります。情報通信機器を安全に活用するために、次のことを気をつけて下さい。

### 1. コンピュータウイルスから自分を守る

コンピュータウイルスは、パソコンやスマートフォンなどに感染し、被害を与えます。電子メール、Webページ、アプリなど、さまざまなところにコンピュータウイルスが隠れています。ここをクリックするとプレゼント!、楽しいアプリなので、すぐインストールしよう!、[期待のPDFファイルは重要情報!]のように巧みな手口でコンピュータウイルスを仕掛けてくる場合もあります。

- 知らない人からの電子メールは開かない。
- 電子メールの送信者が、有名人や知人の名前になっていても、実際には全く別の人である場合があります。電子メールの添付ファイルを開くとき、「会員登録」、「友達申請」などのリンクを開くときは注意する。
- Webページで「ここをクリック!」とあっても、安易にクリックしない。
- パソコンのオペレーティングシステムは頻りにアップデートするか、自動でアップデートするように設定する。
- 情報通信機器には、必ずウイルス対策ソフトウェアをインストールする。  
※ 福山大学では、学生が無料で利用できるウイルス対策ソフトウェアを準備しています。

### 2. 大事な情報を漏らさない

ブログや掲示板などでの交流はとても楽しいものです。しかし、ブログや掲示板などに書き込んだ情報は、世界中の人の目に触れる可能性があります。一度あなたが書き込んだ情報を、他の人が勝手にコピーして配布することもあります。秘密にしたい情報を守ること、自分以外の人のプライバシーを侵害しないことが重要です。

- 他人に秘密にしたい情報をインターネットで書き込まない。特に、住所、免許証や運転免許のコピーなど、プライバシーに関わる情報をインターネットで書き込む行為はやめましょう。自宅周辺などの写真は、自分の住所が特定できる材料となり大変危険です。
- 家族のこと、友人のこと、知り合いのことなど、自分以外のことをインターネットで書き込むときは、その人たちのプライバシーや感情に十分に配慮を。
- その場の感情のみで書き込みます。落ちついた気持ちで書き込むように。自分の恥ずかしい体験、人への不満、いたずら自慢などは、うっかり書き込んだとき、あとで読み返してみると恥ずかしくなるものです。
- 荷役めいた表示に出会っても、たいていの場合は無視しても大丈夫。インターネットを使っているとき「現金を振り込め!」、「解約したければ電子メールで連絡を!」、「住所と名前を知らせろ!」、「電話しろ!」、「1週間以内に振り込まなければ!」などの脅し表示に出会う場合もありますが、慌てずに、信頼できる人に相談しましょう。

### 3. パスワードをきちんと管理する

パスワードは、福山大学の情報通信機器や、学生向け情報サービスを使うときにも必要です。パスワードは厳重に自身の身分を証明するとても大事なものです。

- 自分が利用する情報通信機器(パソコン、携帯電話など)には、必ずパスワードを設定する。パスワードを他の人に教えないでください。
- 学校などの公共のパソコンを使って、ログインしたまま屏を離れるとパスワードを盗まれる危険があります。屏を離れる時は必ずログオフするようにしましょう。
- 生年月日や電話番号、辞書に載っている単語をパスワードになど、他人に推測されやすいパスワードは避けましょう。番号強度が高いパスワードを使うようにしましょう。

• 秘密にしたい情報は、インターネットに書き込まない

自分の履歴書のコピー、自分の免許証のコピー  
自分の自宅周辺の写真 など

• 家族のこと、友人のこと、知り合いのことをインターネットに書き込むときは、**プライバシーに配慮**を

• その場の感情のみで書き込まず、落ち着いた気持ちで書き込む

• 心配なことは → 信頼できる人に打ち明ける

ページ 3, 4

地域と世界をつなぐ、未来創造人を育成する。



# 3. パスワードを管理する



# パスワード

## パスワードは、自分の身分を証明する大切なもの

- 他人に秘密にしたい情報をインターネットで書き込まない。特に、住所、免許証や履歴書のコピーなど、プライバシーに関わる情報をインターネットに書き込む行為はやめましょう。自宅周辺などの写真は、自分の住所が特定できる材料となり大変危険です。
- 家族のこと、友人のこと、知り合いのことなど、自分以外の人のことをインターネットに書き込むときには、その人たちのプライバシーや感情に十分に配慮を。
- その場の感情のみで書き込まず、落ち着いた気持ちで書き込むように。自分の恥ずかしい体験、人への不満、いたづら自慢などは、うっかり書き込んだとき、あとで読み返してみると恥ずかしくなるものです。
- 脅迫めいた表示に出会っても、たいていの場合は無視しても大丈夫。インターネットを使っているとき「現金を振り込め!」、「解約したければ電子メールで連絡を!」、「住所と名前を知らせろ!」、「電話しろ!」、「1週間以内に振り込まなければ」などの怖い表示に出会う場合もありますが、信じて、信頼できる人に相談しましょう。

### 3. パスワードをきちんと管理する



パスワードは、福山大学の情報通信機器や、学生向け情報サービスを使うときにも必要です。パスワードは皆さん自身の身分を証明するとても大事なものです。

- 自分が利用する情報通信機器（パソコン、携帯電話など）には、必ずパスワードを設定する。パスワードを他の人に教えてはいけません。
- 学校などの公共のパソコンを使っていて、ログインしたまま席を離れるとパスワードを盗まれる危険があります。席を離れる時は必ずログオフするようにしましょう。
- 生年月日や電話番号、辞書に載っている単語をパスワードになど、他人に推測されやすいパスワードは避けましょう。暗号強度が高いパスワードを使うようにしましょう。

## ページ4



# パスワードをきちんと管理する

- 他人に秘密にしたい情報をインターネットで書き込まない。特に、住所、免許証や履歴書のコピーなど、プライバシーに関わる情報をインターネットに書き込む行為はやめましょう。自宅周辺などの写真は、自分の住所が特定できる材料となり大変危険です。
- 家族のこと、友人のこと、知り合いのことなど、自分以外の人のことをインターネットに書き込むときには、その人たちのプライバシーや感情に十分に配慮を。
- その場の感情のみで書き込まず、落ち着いた気持ちで書き込むように、自分の恥ずかしい体験、人への不満、いたづら自慢などは、うっかり書き込んだとき、あとで読み返してみると恥ずかしくなるものです。
- 脅迫めいた表示に出会っても、たいていの場合は無視しても大丈夫。インターネットを使っているとき「現金を振り込め!」、「解約したければ電子メールで連絡を!」、「住所と名前を知らせろ!」、「電話しろ!」、「1週間以内に振り込まなければ」などの怖い表示に出会う場合もありますが、信じて、信頼できる人に相談しましょう。

## 3. パスワードをきちんと管理する



パスワードは、福山大学の情報通信機器や、学生向け情報サービスを使うときにも必要です。パスワードは皆さん自身の身分を証明するとても大事なものです。

- 自分が利用する情報通信機器（パソコン、携帯電話など）には、必ずパスワードを設定する。パスワードを他の人に教えてはいけません。
- 学校などの公共のパソコンを使っているとき、ログインしたまま席を離れるとパスワードを盗まれる危険があります。席を離れる時は必ずログオフするようにしましょう。
- 生年月日や電話番号、辞書に載っている単語をパスワードになど、他人に推測されやすいパスワードは避けましょう。暗号強度が高いパスワードを使うようにしましょう。

ページ4

◇ パソコンや携帯電話などには、パスワードを設定する

◇ パスワードを他の人に教えてはいけない

◇ 学校など、公共のパソコンを使っているとき、ログインしたまま席を離れてはいけない（パスワードを盗まれる危険性がある）。席を離れるときは、必ず、ログオフする。

◇ 生年月日、電話番号、安易な文字列（「1234」やら）をパスワードに使うのは避ける



# 気を付けて欲しいこと

## 各自で点検しましょう

情報通信機器はとても便利です。でも、情報の紛失、情報漏えい、うっかり違法な行為を行うなど、危険もあります。危険から自分を守るために、皆さんに守って欲しいことをまとめました。各自で点検しましょう。

### ① 紛失・盗難に注意しよう

ノートパソコン、携帯電話、USBメモリ、SDカードなどには、大切な情報が入っています。なくしたり、盗まれたりしないように注意しましょう。



### ② 大事な情報は、前もって複製しておこう

学校に提出するレポート、友人との思い出の写真などの貴重な情報は、パソコンなどが故障してもなくならないように、別のUSBメモリやSDカードなどに複製（バックアップ）して、保管しておきましょう。



### ③ 電子メールでの宛先ミスに気を付けよう

電子メールで大事な情報を送るときは、違う人に送ってしまうことが無いように、正しい宛先になっていることを十分に確認しましょう。



### ④ 歩きスマホは危険なのでやめる

歩行中にスマホなどを操作するのは危険です。転倒や衝突などの事故を招きます。周囲の人を事故に巻き込む場合もあります。入院や死亡に至る場合もあります。車両（自転車、バイク、自動車）の運転中も、携帯機器を使っちゃダメ。



### ⑤ スマホ依存症、パソコン依存症にならない

あまりにも長時間、スマホやパソコンなどの電子機器に熱中するのは、健康によくありません。ストレスの原因にもなります。みなさんの周りに、電子機器のゲームやメールなどに長時間没頭している人はいないでしょうか。せっかくの楽しい大学生活の時間を、電子機器だけに使うのは、もったいないことです。



1. 紛失・盗難に気を付ける

2. 大事なデータは、前もって複製（バックアップ）しておく

3. 電子メールでの宛先ミスに気を付ける

4. 歩きスマホは危険なので避ける

5. スマホ依存症、パソコン依存症にならない

ページ5



# みなさんに気を付けて欲しいこと

⑥ インターネットでの言動も、多くの人に見られていることに気をつけよう

アルバイト、インターンシップなど、社会の一員として活躍することは良い体験になります。このとき、仕事で知った情報を漏らすことや、不満や悪口などを言うのはやめましょう。特に、インターネットを使っての言動には十分に注意しましょう。社会の責任ある一員として振る舞ってください。



⑦ 違法コピーは絶対にしない

ソフトウェア、種々のコンテンツ（映画、音楽など）を違法にダウンロードすることや、違法にコピーすることは法律で禁止されています。販売などで利益を得るのはもっての外です。



⑧ ファイル共有ソフトウェアは使わない

ファイル共有ソフトウェアは実はとても危険です。違法コピーに加担する、コンピュータウイルスの感染を広げるなど、危険がいっぱいです。



⑨ 剽窃や著作権侵害を行わない

「他人の文章やアイデアを盗んで、自分のものとして発表すること」を剽窃といいます。「著作権者の許可なく、著作物を利用すること」を著作権侵害といいます。剽窃や著作権侵害を行ってはいけません。



・他人が作成した情報（文章や写真など）を丸ごとコピーしたり、切り取ったりして、自分のものとして発表してはいけません。授業でのレポート作成、ブログや掲示板での情報発信等で、十分に気を付けて下さい。

・引用する場合には、引用元の情報と、引用した部分が明確に分かるように示しましょう。

・過度な引用は、剽窃や著作権侵害の恐れがあるので、注意しましょう。

⑩ 情報通信機器を悪用すること、公序良俗に反することは絶対に行わない

6. インターネットでの言動も、思いのほか、多くの人に見られていることに気をつけよう

7. 違法コピーは絶対にしない

8. ファイル共有ソフトウェアは危険。使わない。

9. 剽窃（他人のアイデアを盗んで自分のものとして発表すること）、著作権侵害（著作権者の許可なく、著作物を利用すること）を行わない

10. 決して、悪用しない

ページ6



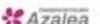
# チェックリスト

## 情報通信機器を主に活用しましょう

最後に、各自で、自分の将来についてチェックしてみましょう。

- インターネットなどを活用して、情報収集したい。
- ワードプロ、表計算、プレゼンテーションなど、パソコンの威力を実感し、パソコン活用能力を向上させたい。
- 情報を整理し、分かりやすく他人に伝えるプレゼンテーション能力を磨きたい。
- インターネットなどを活用して、仲間や家族などとの交流を深めたい。
- インターネットなどを活用して、異なる文化や、異なる価値観を持つ人たちとも対話、交流したい。

福山大学では、学生向け情報サービスと情報通信機器を種々整備しています。

- 学生ポータルシステム・ゼルコバ (Zelkova)  学生諸君の履修、成績、就職支援など扱うシステムです。
  - 学修支援システム・セレゾ (Cerezo)  学生諸君の「学び」を支援する、種々のサービスを提供しています。
  - eラーニング/リメディアル教育システム・アザレア (Azalea)  英語、数学、理科などの自学・自習が簡単にできます。
  - Office 365 と Office365 メールシステム (全学メールシステム) ワードプロ、表計算、プレゼン、電子メールアプリケーションなどです。Web ブラウザでも動きます。
  - プロジェクトラウンジ (7号館)、教育用パソコン室 (1号館など学内各所)、自学自習用パソコン (学内各所)
  - 情報倫理ビデオ 1号館、4号館の教育用パソコン室などで、オンライン視聴できます。
  - 教育用 Wi-Fi スポット 学内アクセスポイント数 250 以上です。
- 共同利用センター ICT サービス窓口 (7号館2階) で質問など受け付けます。

## ページ7

- インターネットなどを活用して、**情報収集**したい。
- ワードプロ、表計算、プレゼンテーションなど、パソコンの威力を実感し、**パソコン活用能力**を向上させたい。
- 情報を整理**し、**分かりやすく他人に伝えるプレゼンテーション能力**を磨きたい。
- インターネットなどを活用して、仲間や家族などとの**交流**を深めたい。
- インターネットなどを活用して、異なる文化や、異なる価値観を持つ人たちとも**対話**、**交流**したい。

地域と世界をつなぐ、未来創造人を育成する。

